

製品名: CDKN2A/p14ARF (18X15) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08578**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200,IP 1:50-1:100
分子量	14kDa

抗原情報

遺伝子名	CDKN2A
別名	ARF; CDK4I; CDKN2; CDKN2A; CMM2; INK4; INK4a; MLM; MTS1; p14; p16; p16INK4a; P19ARF; TP16;
遺伝子 ID	1029.0
SwissProt ID	Q8N726
免疫原	ヒト CDKN2A/p14ARF の合成ペプチド

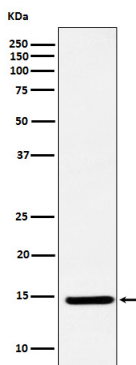
背景

CDK2NA の遺伝子は、最初のエクソンが互いに異なる複数の転写産物/タンパク質を生成します。これらの転写産物のうち3つは選択的スプライシングによって生成され(アイソフォーム 1 別名 p16INK4A、アイソフォーム 2、アイソフォーム 3 別名 p12)、そのうち2つは CDK4 キナーゼの阻害剤として機能することが知られています。G1 期および G2 期での細胞周期停止を誘導できます。腫瘍抑制因子として作用します。MDM2 に結合し、核小体に隔離することで核質間の移動を阻害します。これにより、MDM2 誘導性の p53 分解が阻害され、p53 依存性のトランス活性化およびアポトーシスが促進され、MDM2 の発癌作用が抑制されます。また、サイクリン B1/CDC2 複合体の活性化を防ぐことで、p53 非依存的に G2 停止およびアポトーシスを誘導します。BCL6 に結合し、BCL6 誘導性の転写抑制を下方制御します。E2F1 および MYC に結合し、それらの転写活性化因子活性を阻害しますが、MYC 転写抑制には影響しません。TOP1/TOPOI に結合し、その活性を刺激します。この複合体は rRNA 遺伝子プロモーターに結合し、rRNA 転写および/または成熟に役割を果たす可能性があります。NPM1/B23 と相互作用し、そのポリユビキチン化および分解を促進して、rRNA プロセシングを阻害します。COMMD1 と相互作用し、その「Lys63」結合ポリユビキチン化を促進します。UBE2I/UBC9 と相互作用し、MDM2 および E2F1 を含む多数の結合パートナーの SUMO 化を促進します。HUWE1 に結合し、そのユビキチンリガーゼ活性を抑制します。乳腺の発達中に細胞増殖およびアポトーシスを制御する役割を果たす可能性があります。アイソフォーム smARF はオートファジーとカスパーゼ非依存性細胞死の調節に関与している可能性があり、短寿命のミトコンドリアアイソフォームは C1QBP によって安定化されます。

研究分野

幹細胞経路; 細胞周期

画像データ



PC3 細胞溶解物中の CDKN2A/p14ARF 発現のウェスタン ブロット解析。